

千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム 2025年度事業実施内容とその評価

項目	事業	中長期計画の 数値目標 (評価指標) 等	2025年度当初事業計画	2025年度実施内容	コンソーシアムの評価
目標 I 各大学間の連携の推進					
課題① 教育の質の保証・向上 (授業内容等の改善)	共同FD (ファカルティ・ディベロップメント)	年延べ30名以上の参加	共同ファカルティ・ディベロップメントを企画し実施する。 ＜年1回以上延べ30名以上の参加を目標とする＞	「第27回法政大学FDワークショップ」(コンソ共催) 「変革期における新たな大学教育の可能性」をテーマに9月5日にオンラインで開催し、教職員196名が参加した。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
課題② 教育の質の保証・向上 (教育研究活動等の適切な効果的な運営)	共同SD (スタッフ・ディベロップメント)	年延べ50名以上の参加	大学間職員人事交流制度を利用した職員の派遣・受入れを実施する(年1回)。 その他、共同スタッフ・ディベロップメントを企画し実施する。 ＜上記を合計して年延べ50名以上の参加を目標とする＞	「2025年度大学間人事交流制度による職員合同研修」 7～9月の3か月を期間として実施し職員13名が参加した。 「第27回法政大学FDワークショップ」(コンソ共催) 「変革期における新たな大学教育の可能性」をテーマに9月5日にオンラインで開催し、教職員196名が参加した。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
課題③ 各大学間の学生の交流の活性化	学生合同ボランティア	年間延べ100名以上参加	学生合同ボランティアを含む正課・正課外のプログラムを企画し実施する。 ＜年間延べ100名以上参加を目標とする＞	正課・正課外プログラムの開催 千代田区キャンパスコンソが主催・共催・協力等で関わるボランティアを含む正課・正課外の27件のプログラムを開催し、合計延べ1640名の学生が参加した。 ●「ちよエコヒーロー宣言」のキックオフイベント ●ダウン症企画 ●mymizuチャレンジ ●サステナブルライフ Meet Up ー同世代とともに、持続可能な未来を考えよう ー ●ソーラーシェアリングを学ぶ！現地スタディツアー&ワークショップ ●地域交流拠点創出プロジェクト in 南魚沼市 ●Re:Think！PETボトル ●「千代田さくら祭り2026公式ガイドMAP製作プロジェクト」 ●外濠ワークショップ ●神保町ワック魅力新発見2025 (千代田区ウォークアブルなまちづくりの活動) ●持続可能な未来共創プロジェクト リコー環境事業開発センター見学ツアー ●未来のライフスタイル共創プロジェクト in 横浜 ●(千代田区×千代田コンソ) 食品ロス削減を考える！ ～自分たち(学生)に何ができるか、一緒に考えてみませんか？～ ●「もういいかい？まーだだよ 令和7年度結核・呼吸器感染症予防週間特別講演会」 ●共生社会ワーキングプログラム ●女性のウェルネスサポートプロジェクト ●「神田古書店街写真プロジェクト(2025年度)」 ●「サステナブル・キャピタリズム」を考えようガーナで取り組む《経済×文化×環境=SDGs》 ●チョコレート生産に隠された課題～児童労働問題について考えよう～ ●大阪・関西万博のデザインシステムから学ぶ「文化」の持続・継承 ●法政大学カーボンニュートラル推進センター開設記念シンポジウム「未来を拓く、「知」と「共創」のカーボンニュートラル ～教育と研究による地域の脱炭素社会への挑戦～」 ●手話講座特別編 ●世界の若手リーダーのキャリアを聞こう！ ●千代田区の「まちづくり」を考える！学生提言ミニプロジェクト「学生がまちづくりに関わるには？」 ●スペシャルオリンピックス企画 ●第3回ちよエコ学生交流会「環境×時事×行政で未来を考える」 ●盲導犬を知ろう！企画 ●災害食体験&災害クイズ	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。

項目	事業	中長期計画の 数値目標 (評価指標)等	2025年度当初事業計画	2025年度実施内容	コンソーシアムの評価
課題④ 多様な学びの提供	単位互換の実施	単位互換科目の履修者数（前年度比5%増）	<p>単位互換科目受講者数増の施策を検討し実施する。</p> <p>複数大学による共同開講授業を1科目以上開講する。</p> <p>大学連携による新たな共同開講授業の実現に向けた検討を行う。</p>	<p><u>単位互換</u> 履修者数（実数）は、前年度84名から19%減の68名となった。また、受講対象科目402科目のうち、実際に学生が受講した数は76科目、構成比率は18.9%であり、前年度の86科目、同構成比率21.5%から、科目数は11.6%減、構成比率は2.6ポイント減となった。単位互換科目を受講した学生に対しヒアリングを行い、それを元に単位互換制度紹介動画・チラシの見直しを行った上で、2026年度募集に向け、千代田コンソのウェブサイトに公開した。</p> <p><u>共同開講授業</u> 複数大学が授業を編成・開講する共同開講授業として、以下1科目をコンソ単位互換科目として開講された。 ●「地域文化理解Ⅰ」</p> <p><u>サティフィケートプログラムの拡大施策の検討</u> 単位互換制度の枠組みを利用して、法政大学のSDGs科目群の科目を履修するなどの条件を充たした法政大学以外の学生に対して「法政大学SDGsサティフィケート」を交付する取り組みを2023年度から開始した。今後のサティフィケート取得者増に向け、周知方法等広報施策を含めた検討を進めている。</p>	<p>単位互換科目の履修者数については、数値目標未達となった。次年度以降に向けて、受講者数の増及び単位互換制度の更なる発展に向けての調査・論点整理を行う。</p> <p>共同開講授業については、計画した1科目の実施ができた。</p> <p>単位互換制度の枠組みを利用して開始したサティフィケートプログラムについて、取得者拡大に向け、施策を検討する必要がある。</p>
目標Ⅱ 各大学と千代田区（関係団体等を含む）との連携の推進					
課題⑤ 千代田区への研究成果の還元	地域課題に関連した研究成果の発表地域課題をテーマにした講演・シンポジウム	年5回以上の実施	<p>・地域課題に関連した研究成果の発表を行う（地域課題をテーマにした講演・シンポジウムの開催）。</p> <p>＜千代田区キャンパスコンソ及び各大学・短期大学が実施するもの、年5回以上＞</p> <p>・区内在住・在勤者等を対象とした研究成果を還元する公開講座を大学間で連携して行う。</p>	共同公開リレー講座「ちよだで学ぶ2025-人とまちがつながる、学びの場-」各大学・短期大学の合計18回の公開講座をリレー形式で開催した。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
課題⑥ 地域コミュニティの活性化	地域向けイベント等開催又は参画	地域在住・在勤・在学者 延べ1,000名以上の参加又は年間5件以上の開催又は参画	研究成果の還元などを通じた、地域コミュニティ活性化に資する事業を企画し実施し又は参画する。 ＜地域在住・在勤・在学者延べ1,000名以上の参加 又は 年間5件以上の開催又は参画＞	<p><u>地域向け・地域連携型イベント・講座</u> 千代田区キャンパスコンソが主催・共催・協力・協賛・後援する、地域向けまたは地域と連携したイベントや講座を開催した。これらには、学生等を含め合計1296名の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「ちよエコヒーロー宣言」のキックオフイベント ●mymizuチャレンジ ●神保町古書店街写真プロジェクト ●神保町ワクワク魅力新発見（「千代田区ウォークアブルなまちづくりの活動」採択事業） ●外濠ワークショップ ●金融リテラシー講座 ●書き初め勉強会 ●キッズ対象環境学習ワークショップ ●「身体って面白い」～朗読を通して「カラダ」を感じよう～ ●共同公開リレー講座「ちよだで学ぶ2025-人とまちがつながる、学びの場-」 ●千代田区の“まちづくり”を考える！学生提言ミニプロジェクト「学生がまちづくりに関わるには？」 ●（千代田区×千代田コンソ）食品ロス削減を考える！～自分たち（学生）に何ができるか、一緒に考えてみませんか？～ ●第3回ちよエコ学生交流会「環境×時事×行政で未来を考える」 ●千代田さくら祭り2026公式ガイドマップ製作プロジェクト <p>昨年度に続き、2026年3月配付用ガイドマップの製作プロジェクトとして、千代田区商工業連合会（千代田観光まちづくり実行委員会）との共催で実施し、8月から9名の学生が参加して実施</p>	<p>計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。</p> <p>共同公開リレー講座には合計18の講座に739名の参加があった。</p>

項目	事業	中長期計画の 数値目標 (評価指標)等	2025年度当初事業計画	2025年度実施内容	コンソーシアムの評価
課題⑦ 地域の教育支援	地域向け共同公開講座等の実施	年1回以上実施	地域の教育に資する共同公開講座等の事業を実施する。<年1回以上実施> 社会人のキャリア形成に資するプログラム等を企画し実施する。<年1回以上実施> 各大学と千代田区の教育リソースの共有や教育連携を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ●共同公開リレー講座「ちよだで学ぶ2025-人とまちがつながる、学びの場-」地域在住者等を対象として6月に開始した。オンライン（オンデマンド）又は対面で年間18講座を開講し、合計739名が受講。 ●千代田コンソ×麴町中学校連携事業「学習サポート連携プログラム」（11月度）麴町中学校を千代田区コンソの学生16名が訪れ、試験期間中の学習のサポートを行った。 ●千代田区立麴町中学校「職場体験学習」受入 千代田区コンソの大学で3日間にわたり、3名の中学生の受け入れを行った。 ●書き初め勉強会 ●金融リテラシー講座 ●キッズ対象環境学習ワークショップ ●「身体って面白い」～朗読を通して「カラダ」を感じよう～ 	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
目標Ⅲ 各大学と地域産業界等との連携の推進					
課題⑧ 学生による地域産業振興支援	地域産業界との連携教育プログラムの実施	年1企業以上との実施	地域の産業振興に資する事業（連携教育プログラム等）を企画し実施する。<年1回以上との実施>	<ul style="list-style-type: none"> ●千代田さくら祭り2026公式ガイドマップ製作プロジェクト 2026年3月配付用ガイドマップの製作プロジェクトとして、千代田区商工業連合会（千代田観光まちづくり実行委員会）との共催で実施し、8月から9名の学生が参加して実施。 	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
目標Ⅳ 各大学と地方の大学との連携の推進					
課題⑨ 地方の大学との学生交流の活性化	相互参加型教育プログラムの実施	年1回実施	地方の大学の学生が参加する授業を単位互換科目として開講する。<年1回実施>	<ul style="list-style-type: none"> ●単位互換制度を利用した学生交流 ●「地域文化理解Ⅰ」には40人（うち京都府内学生1人）が受講した。 	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
目標Ⅴ 千代田区キャンパスコンソの運営基盤強化（千代田区キャンパスコンソが必要と認めた事項）					
課題⑩ 積極的かつ適切な情報公開	共同IRの実施と公表	年3項目以上分析・公表	共同IR報告書を作成し公開する。<年3項目以上分析・公表>	<ul style="list-style-type: none"> ●【共同IR】数字で見る千代田区内近接大学の高等教育コンソーシアム（2024年度）2025年6月にコンソウェブサイトにて公表した。 	計画した事業に取り組んでいる。
課題⑪ 地域リスクマネジメント	災害時連携体制の検討又は事業実施	年1回以上の検討・事業実施	教育研究や管理運営に対する各種リスクへの対策を検討するとともに、リスクマネジメント体制を検証し、必要に応じて改訂を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●リスク発生情報共有のための連絡訓練 前年度と同様に「リスクマネジメント体制に関する申し合わせ」に基づく緊急時連絡訓練を9月に実施した。 ●共同研究「大学と地域、企業をむすぶ災害支援体制の構築のためのアクティブラーニング」（2025年4月～2026年3月） ●救命講習×防災訓練（12月） ●帰宅困難者支援施設運営体験ゲーム（KUG）（2月） ●災害食体験&災害クイズ（3月） 	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
課題⑫ 継続的検証体制の構築	事業取組み状況・効果の評価	<ul style="list-style-type: none"> ①コンソ主催連携事業参加者の参加満足度（各事業で90%以上） ②単位互換科目の履修者数（前年度比5%増） 	事業取組み状況・効果について、①コンソ主催連携事業参加者の参加満足度（各事業で90%以上）、②単位互換科目の履修者数（前年度比5%増）を指標として評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ①コンソ主催連携事業参加者の参加満足度 2025年度に実施したコンソ主催等事業8件の参加者アンケートにおける満足度は、75～100%の範囲となった（1件が90%未達、8事業平均で92.9%）。 ②単位互換科目の履修者数 履修者数（実数）は、前年度84名から20.2%減の67名となった。 	対象事業のうち1件が90%未達（75%）となり、目標未達となった。ただし、平均では92.9%と高い数値を達成しており、引き続き、各事業での満足度確保に向けた取り組みを強化する。 単位互換科目の履修者数は前年度比減となっており、数値目標未達となった。

項目	事業	中長期計画の 数値目標 (評価指標)等	2025年度当初事業計画	2025年度実施内容	コンソーシアムの評価
その他の事項（千代田区キャンパスコンソが必要と認めた事項）					
－ 千代田区キャンパスコンソの広報・調査	共同大学説明会・ニーズ調査	－	－	7月～8月に、共立女子大学・共立女子短期大学、東京家政学院大学、大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部のオープンキャンパス時に、千代田区キャンパスコンソの共同大学説明会を合計3回開催した。その際、来訪者（高校生・その保護者、外国人留学生等）等を対象として、進路に関する情報収集の手段の内容や、大学間で連携して実施している取組みのうち参加してみたい内容等についてアンケートを行った。 また、7月に、外国人留学生向け共同大学説明会を千駄ヶ谷日本語学校で行った。	大学間連携・地域連携に関するイメージや千代田区キャンパスコンソに期待することについて地域の声を把握することができた。
－ 地域の声を把握する取組み	大学間連携・地域連携に関する意見募集	－	－	アンケート形式で大学間連携・地域連携に関する意見をウェブサイトで募集した。千代田区キャンパスコンソの取組みを知ってもらうこと、今後の取組みの検討にあたり参考にすることを目的としたこのアンケートのみには、区内在住・在勤を含む8通の回答をいただいた。	大学間連携・地域連携に関するイメージや千代田区キャンパスコンソに期待することについて地域の声を把握することができた。

千代田区の意見

千代田区キャンパスコンソは、
 本区教育委員会の「区立学校と産学等の連携」における麹町中学校連携事業「学習サポート連携プログラム」による中学校生徒の放課後自習の見守り・学習サポートでの地域の教育支援活動や同校生徒の職場体験学習の受け入れをはじめ、
 地域コミュニティ醸成支援事業「ちよだコミュニティラボライブ」における、学生の声・アイデアを地域へ届けることをコンセプトとした「学生がまちづくりに関わるには」の学生提言、
 ウォークラブルなまちづくりのプレイスメイキング実証実験「神保町ワクワク魅力新発見」といった課外プログラムの展開、
 食品ロス削減に向けた「第9回食品ロス削減全国大会in千代田」における区の環境施策「ちよエコヒーロー宣言」ブースでのポスター展示・発表、など
 区の地域コミュニティ、まちづくり、環境、教育など多岐にわたる施策・事業・分野で連携・協力をいただいています。
 このほか、毎月の定例会議における情報共有やキャンパスコンソ構成大学の学長等と区長との懇談において大学側の現況や区の施策等に関する意見交換を行うなど密接な関係性を形成しています。
 コンソーシアムとして区内大学が連携し、地域に寄り添い・顔の見える関係性を構築しながら地域に根差しつつ、学生の学びの場を提供していることは、区としてもたいへん心強い存在です。
 今後も本区の地域課題解決に向け、連携協力を継続していただくとともに、その活動とさらなる発展を期待するものです。

千代田区商工業連合会の意見

千代田区キャンパスコンソーシアムは、学生と地域の連携を促進し、地域の魅力を発信するさまざまな取組みを展開しています。2025年度も、千代田観光まちづくり実行委員会との連携のもと、2021年度より実施している「千代田さくら祭り2026公式ガイドMAP製作プロジェクト」に取組みました。学生が企画・調査・取材・執筆・デザインまでを一貫して担った特集ページ「CHIYODA TREASURE HUNT AND BINGO」は、「千代田の宝を探して冒険の旅へ！」をテーマに制作されました。本企画では、千代田区内に点在する「歴史」「食」「美と知」の観点から選定した“秘宝スポット”を対象に、実際に現地を訪れながら発見・体感できる構成とし、区内の回遊促進と地域理解の深化を図る内容となっています。学生ならではの視点を活かし、千代田区の魅力を多角的に発信する魅力的なコンテンツとなりました。これらの活動においては、企画の立て方や紙面構成、WEBデザインの指導等を行うなど、就業体験の位置づけも持ちながら進めました。学生たちは、企画立案から実施までのプロセスを経験することで、課題解決力や実践的なスキルを身につける貴重な機会を得たのではないかと思います。
 千代田区商工業連合会としては、引き続き、千代田区キャンパスコンソーシアムが学生・教職員、千代田区、地域住民と連携しながら、地域の魅力をさらに高める取組みを続けていくことを心より期待しています。